

MPE720 Ver.7.26 バージョンアップ情報

1. 機能追加・改善項目

1.1 Ver.7.26 バージョンアップ情報

MPE720 Ver.7.24 → Ver.7.26 の機能追加・改善項目は次の通りです。

No.	機能項目	分類
1	MP3300(CPU-301)コントローラに対応しました。	新規追加
2	Σ-7 シリーズサーボパックに対応しました。	新規追加
3	8 軸一体型サーボパックΣ-V-MD シリーズ(SGDV-MDA02)を追加しました。	新規追加
4	267IF-01(CC-Link マスタ)モジュールを追加しました。	新規追加
5	タスクリスト機能を追加しました。	新規追加
6	ウィンドウレイアウトの保持機能をサポートしました。	新規追加
7	ウィンドウレイアウトの表示機能を追加しました。	新規追加
8	システムモニタ機能を強化しました。	機能強化
9	クロスリファレンス機能を強化しました。	機能強化
10	転送機能の改善を実施しました。	機能強化
11	プロジェクト内検索機能を強化しました。	機能強化
12	プロジェクト内置換機能を改善しました。	機能強化
13	複数プログラムの編集操作を改善しました。	機能強化
14	軸選択画面の表示を改善しました。	機能強化
15	印刷機能を改善しました。	機能強化
16	プロジェクトファイルのリカバリ機能をサポートしました。	機能強化
17	グループ定義(軸変数)のデフォルト値を改善しました。	改善
18	モジュール構成定義(MC-Configurator)の動作を改善しました。	改善
19	通信設定画面を改善しました。	改善
20	変数の表示フォーマットのデフォルト値を変更しました。	改善
21	通信プラットフォームの起動タイミングを変更しました。	改善
22	システム構造体に、「IMPORT」、「EXPORT」、「IMPORTL」、「EXPORTL」を追加しました。	改善
23	プロジェクトパスワードが設定されたプロジェクトの MC-Configurator 起動動作を改善しました。	改善
24	トレースマネージャ機能にメッセージを追加しました。	改善
25	リアルタイムトレース機能を改善しました。	改善
26	MAL ファイルから YMW ファイルへの変換動作を改善しました。	改善
27	MC-Configurator 起動動作を改善しました。	改善
28	ラダープログラムのコンパイル動作を改善しました。	改善
29	IMORTL/EXPORTL 命令のコンパイル動作を改善しました。	改善
30	モーションプログラムのコンパイル動作を改善しました。	改善
31	ローカルレジスタのクロスリファレンス動作を改善しました。	改善
32	プロジェクト内検索の動作を改善しました。	改善
33	レジスタリストの「使用レジスタ」表示の動作を改善しました。	改善
34	PO-01 モジュールの設定パラメータの「速度単位選択」に、「0.0001%」を追加しました。	改善
35	AI-01、AO-01 モジュールの詳細定義画面の表示を改善しました。	改善
36	転送動作を改善しました。	改善
37	軸変数コメントの動作を改善しました。	改善
38	リアルタイムトレース機能のトリガ待ち状態の動作を改善しました。	改善
39	印刷機能の改善を実施しました。	改善
40	定数変数(Cレジスタ)印刷の改善を実施しました。	改善

(※): Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合にMPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。
操作手順については、次頁を参照ください。

【Windows 7、Windows Vista環境での使用方法について】

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、MPE720 Ver7を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

<原因>

Windows 7、Windows VistaのOS環境で、既にMPE720 Ver.7.11以前のMPE720 Ver.7を使用していた場合に、MPE720 Ver.7.13以降で追加された軸セットアップウィザード機能へのサーボ機種(ΣV-miniシリーズ)追加などの情報(データベースに追加された最新の情報)で動作しない場合があります。

<対策>

以下の手順に従い、バッチファイルを実行することで以下フォルダを削除してください。(※1)

C:\Users\ユーザー名(※2)\AppData\Local\VirtualStore\Program Files(※3)\YASKAWA\MPE720 Ver7

手順

1. MPE720 Ver.7インストーラに同梱されているバッチファイルをデスクトップにコピーします。

【ダウンロード版の場合】

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_xxx(※4)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

【CD版の場合】

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

D(※5)\Tools\CleanUp\MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

2. コピーしたバッチファイルを選択し、ダブルクリックで実行します。

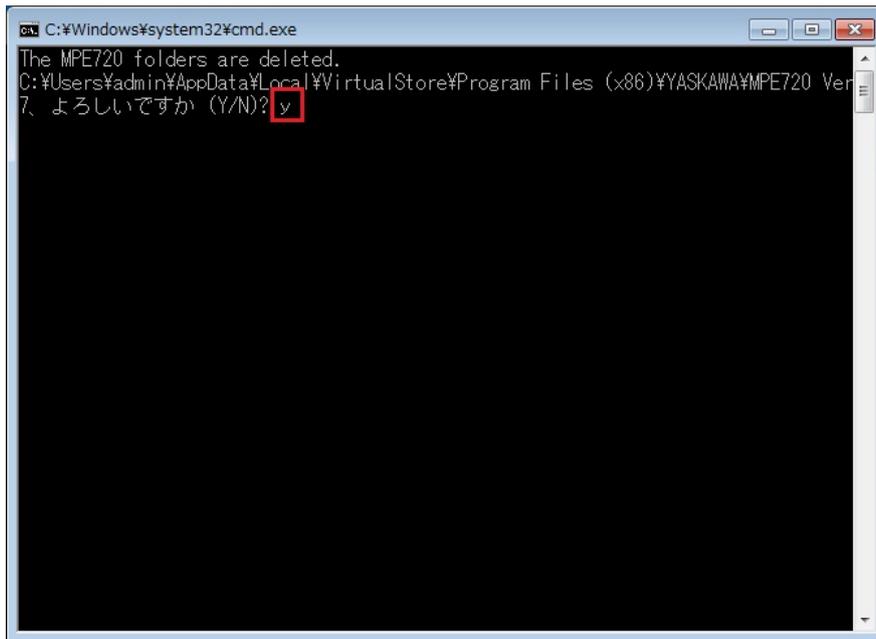
ご使用のOS環境により、実行するバッチファイルを選択してください。

MPE720Ver7_x86.bat (32ビット版OS用)

MPE720Ver7_x64.bat (64ビット版OS用)

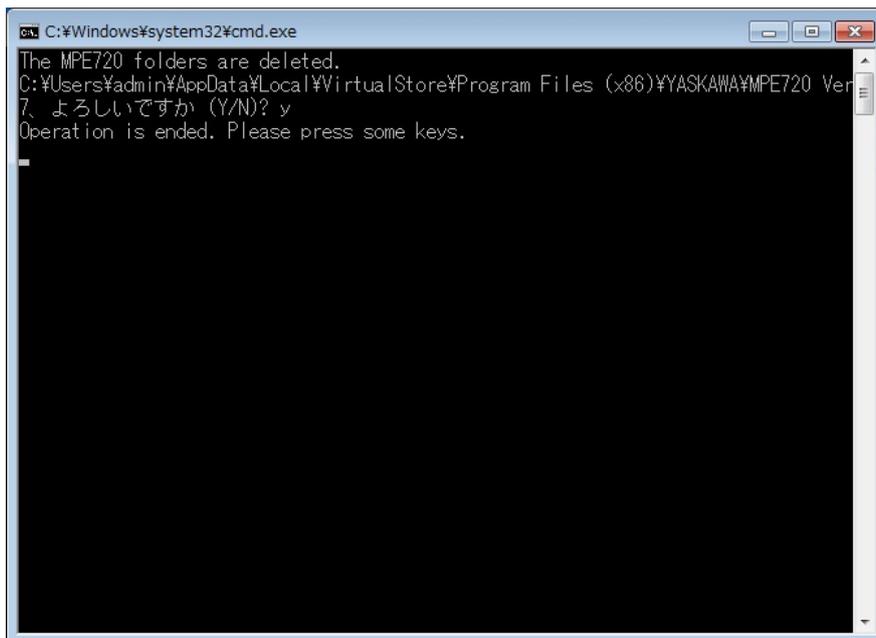


3. コマンドプロンプト上で「y」を入力し、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
```

4. 削除処理終了後、コマンドプロンプト上で、Enterボタンを押下します。



```
C:\Windows\system32\cmd.exe
The MPE720 folders are deleted.
C:\Users\admin\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86)\YASKAWA\MPE720 Ver
7, よろしいですか (Y/N)? y
Operation is ended. Please press some keys.
```

(※1): 1台のPCをマルチユーザで使用している場合は、各ユーザ毎に本作業を実施してください。

(※2): ログインしているユーザアカウント名が入ります。

(※3): OS環境により下記のパス名になります。

32ビット版OS: Program Files

64ビット版OS: Program Files (x86)

(※4): インストールするバージョンによりパス名が変更されます。

(※5): CD/DVDドライブ名が入ります。

(※6): MPE720 Ver.7インストール時、インストール先を変更した場合は、インストールしたパスに合わせて手動で以下フォルダ配下にある「MPE720 Ver7」フォルダを削除してください。

C:\Users¥ユーザ名(※2)¥AppData¥Local¥VirtualStore

【並列回路のコンパイルについて】

MPE720 Ver7.23以前のMPE720 Ver7のラダープログラムにおいて、並列回路を使用した場合、以下の現象が発生することがあります。

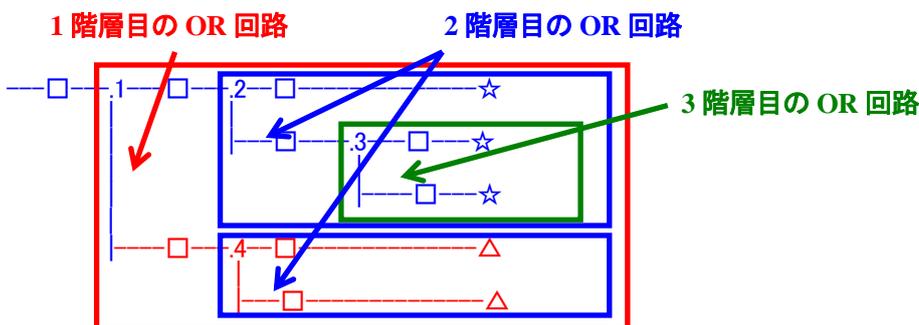
<現象>

下記のパターンを含む回路を作成した場合に、1階層目のOR回路の下側の回路が、本来、1階層目のOR回路の前にある条件命令を受けて、動作しなければならないところをその条件を受けずに動作してしまう現象がありました。

<対策>

現象が発生した場合は、MPE720 Ver7.24以降のMPE720 Ver7で、該当のラダープログラムについて、再コンパイルを実施してください。

または、「コンパイル」メニューの「プログラムの全コンパイル」を再度、実施してください。



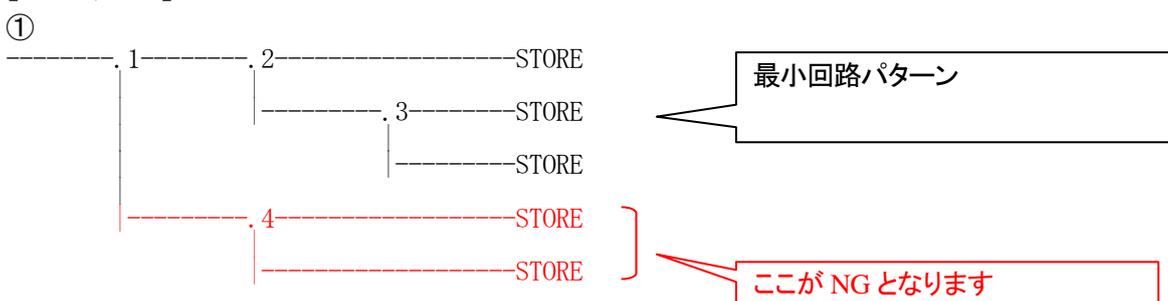
- 1 階層目の OR 回路: ラングの母線から分岐された OR 回路
- 2 階層目の OR 回路: 1 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路
- 3 階層目の OR 回路: 2 階層目の OR 回路内から分岐された OR 回路

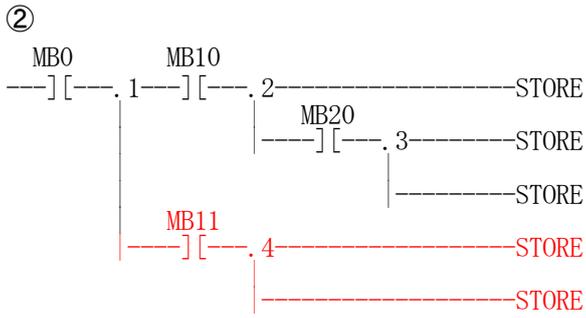
- (条件命令): A 接点、B 接点、比較(=、!、>、<) 命令など
 ※□(条件命令)には、パワー線(——)も含む
- ☆(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など
 ※ただし、☆が全てコイル命令の場合は、今回の現象は発生しません。
- △(出力命令): コイル、ブロック命令(Expression、STORE、COPYW) 命令など

【現象発生パターン】

記号	命令
┌	A 接点
STORE	STORE 命令
()	コイル

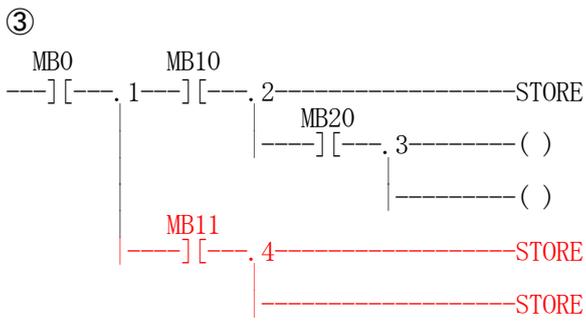
【NG パターン】





最小回路パターンに条件命令(A接点など)があっても NG

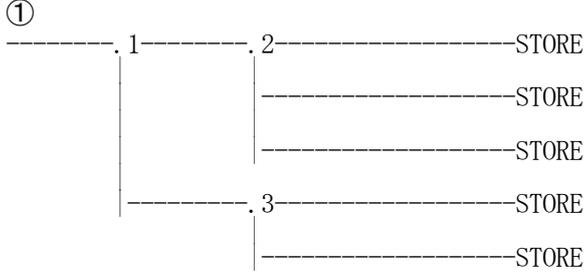
ここが NG となります



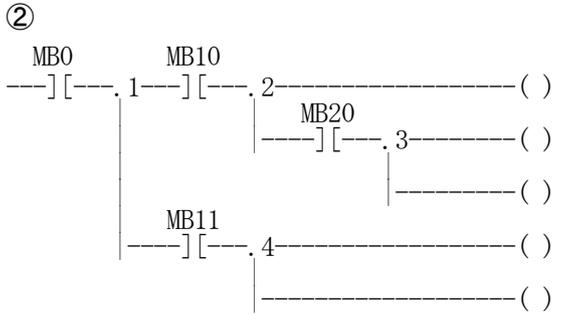
ここに1つでもブロック命令(STORE 命令など)があると NG

ここが NG となります

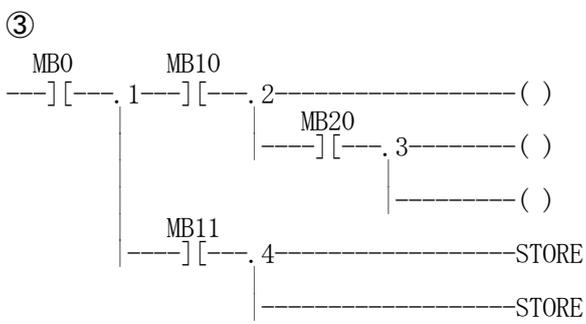
【OK パターン】



2 階層の OR 回路なので OK



すべてコイルなので OK



すべてコイルなので OK

1.2 過去のバージョンアップ情報

No.	バージョンアップ	備考
1	MPE720 Ver7.11 バージョンアップ情報	Ver7.10→Ver7.11
2	MPE720 Ver7.13 バージョンアップ情報	Ver7.11→Ver7.13
3	MPE720 Ver7.14 バージョンアップ情報	Ver7.13→Ver7.14
4	MPE720 Ver7.20 バージョンアップ情報	Ver7.14→Ver7.20
5	MPE720 Ver7.21 バージョンアップ情報	Ver7.20→Ver7.21
6	MPE720 Ver7.23 バージョンアップ情報	Ver7.21→Ver7.23
7	MPE720 Ver7.24 バージョンアップ情報	Ver7.23→Ver7.24

2. 修正内容詳細

No.1 MP3300(CPU-301)コントローラに対応しました。

MP2300 コントローラの後継機種 MP3300 コントローラをサポートしました。

1. MP3300 コントローラ対応

新コントローラ MP3300 コントローラを追加しました。

2. バックグラウンドフラッシュ保存機能

MP3300 の新機能として、バックグラウンドでフラッシュ保存する機能をサポートしました。

これまでは、フラッシュ保存が完了するまで、他のエンジニアリング操作をすることができませんでしたが、フラッシュ保存中もその他のエンジニアリング操作が可能となります。

フラッシュ保存の実行状況は、ステータスバーを確認することでモニタリング可能です。

フラッシュ保存操作については、これまでと同様です。

3. FTP サーバ、FTP クライアント機能

ファイル転送機能(FTP サーバ機能)により、遠隔から CPU 内蔵の RAM または USB メモリ内に格納されたロギングデータやレジスタデータを上位装置にダウンロードすることが可能です。

4. 高速スキャン処理時間の計測開始切り替えモード

高速スキャンの計測開始を「1 スキャン目から」と、「2 スキャン目から」を選択できる機能をサポートしました。

電源投入時の 1 スキャン目に、初期化処理などを実施し、1 スキャン目のみ高速スキャンが延びてしまい、高速スキャンタイムオーバーなどが発生するアプリケーションに最適な機能です。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	MP3300(CPU-301) Ver1.10 以降
MP2000 シリーズ	該当なし

No.2 Σ-7シリーズサーボパックに対応しました。

Σ-Vシリーズサーボパックの後継機種、Σ-7シリーズサーボパック(MECHATROLINK-III通信指令型、Σ-7S(SGD7S-****20*))をサポートしました。

1. モジュール構成定義画面

モジュール構成定義画面において、Σ-7S が割付けできるように変更しました。

2. 固定、設定、モニタパラメータ

Σ-7S の固定、設定、モニタパラメータの詳細設定画面を追加しました。

3. サーボパラメータ/サーボモニタ

Σ-7S のサーボパラメータの詳細設定、サーボモニタの画面を追加しました。

モジュール	機能モジュール/スレーブ	ステータス	回線/軸アドレス		モーションレジスタ
			先頭	占有数	
01 [CPU-301(16axes)] : ---					
	01 CPU	----	----	----	----
	02 218IFD	----	品 回線1	1	----
	03 SVC	----	回線1	1	8000~87FF[H]
	01 SGD7S-****20*	----	03[H] (00[H])	----	8000~807F[H]
	02 -- UNDEFINED --	----			
	03 -- UNDEFINED --	----			
	04 -- UNDEFINED --	----			
	05 -- UNDEFINED --	----			
	06 -- UNDEFINED --	----			
	07 -- UNDEFINED --	----			
	08 -- UNDEFINED --	----			
	04 SVR	----	回線2	1	8800~8FFF[H]
	05 M-EXECUTOR	----	----	----	----
	06 -- UNDEFINED --	----			
	07 -- UNDEFINED --	----			
01 -- UNDEFINED --[-----]		----			
02 -- UNDEFINED --[-----]		----			
03 -- UNDEFINED --[-----]		----			

【対応バージョン】

コントローラ

コントローラ		対応バージョン
MP3000 シリーズ	MP3300(CPU-301)	Ver1.10 以降
	MP3200(CPU-201, CPU-202)	Ver1.12 以降
MP2000 シリーズ		Ver2.88 以降

オプションモジュール

モジュール	対応バージョン
SVC-01	Ver1.12 以降

No.3 8軸一体型サーボパックΣ-V-MD シリーズ(SGDV-MDA02)を追加しました。

1. モジュール構成定義画面

モジュール構成定義画面において、Σ-V-MD が割り付けできるように変更しました。
また、モジュール構成定義画面で、Σ-V-MD を割り付けた場合に、1つのΣ-V-MD を1つのグループとして表示するように変更しました。割り付けたサーボパックのステーション番号の移動は、ドラッグ&ドロップ操作で変更可能です。

2. 固定、設定、モニタパラメータ

Σ-V-MD の固定、設定、モニタパラメータの詳細設定を実施するための画面を追加しました。

3. サーボパラメータ/サーボモニタ

Σ-V-MD のサーボパラメータの詳細設定、サーボモニタの画面を追加しました。

モジュール	機能モジュール/スレーブ	ステータス	回線/軸アドレス		モーションレジスタ	入出力レジスタ(入力/出力)	
			先頭	占有数		Disabled	先頭 ~ 終了
01 [CPU-201]: ---							
EXU-001							
PSA-12							
00 CPU201 [運転中]	01 CPU	運転中					
	02 218IFD	運転中	品	回線 1	1		<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力 0000~07FF[H]
	03 <input type="checkbox"/> SVC32	運転中	<input type="checkbox"/>	回線 1	2	8000~8FFF[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力 0800~0BFF[H]
	<input type="checkbox"/> SGD-V-MDA02**M3*			03[H]			
	01 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(00[H])		8000~807F[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力
	02 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(01[H])		8080~80FF[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力
	03 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(02[H])		8100~817F[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力
	04 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(03[H])		8180~81FF[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力
	05 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(04[H])		8200~827F[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力
	06 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(05[H])		8280~82FF[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力
07 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(06[H])		8300~837F[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力	
08 <input type="checkbox"/> 制御軸(回転)			(07[H])		8380~83FF[H]	<input type="checkbox"/> 入力 <input type="checkbox"/> 出力	

【対応バージョン】

コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。 ※ただし、MP 経由 SigmaWin+連携機能については、Ver1.12 にて対応予定。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。 ※ただし、MP 経由 SigmaWin+連携機能については、Ver2.88 にて対応予定。

オプションモジュール

モジュール	対応バージョン
SVC-01	SVC モジュールのバージョンには依存しません。 ※ただし、MP 経由 SigmaWin+連携機能については、Ver1.12 にて対応予定。

No. 4 267IF-01 (CC-Link マスタ)モジュールを追加しました。

MP3000 シリーズに割り付け可能なオプションモジュールに、267IF-01 (CC-Link マスタ)モジュールを追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver1.10 以降
MP2000 シリーズ	Ver2.86 以降

オプションモジュール

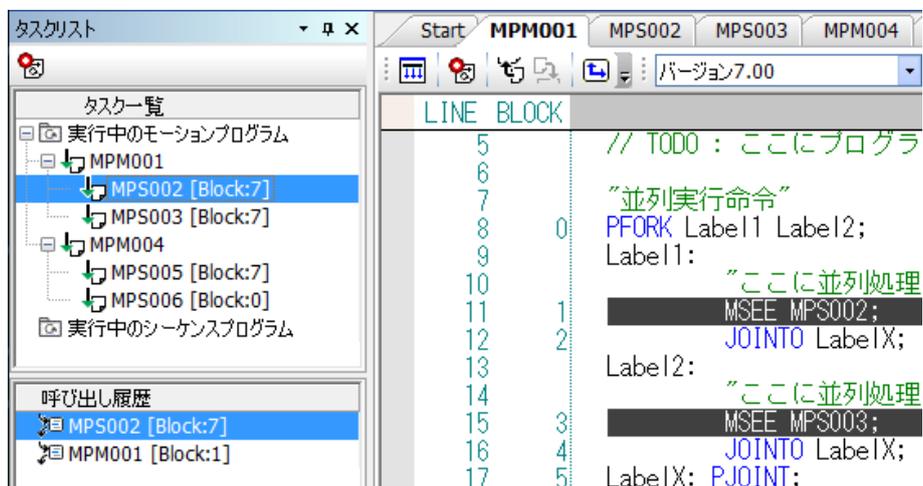
モジュール	対応バージョン
267IF-01	Ver1.00 以降

No.5 タスクリスト機能を追加しました。

モーションプログラムの運転ステータスをモニタリングする機能をサポートしました。

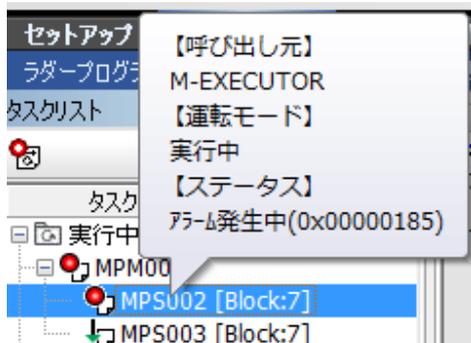
1. 実行中プログラムの名称とステップ番号の表示機能

実行中のメインプログラム名称とステップ番号、及び、メインプログラムから呼び出されたサブプログラム名称とステップ番号を表示します。



2. アラーム発生などの運転ステータスの表示機能

実行中のプログラムの運転ステータスについて、アイコンとバルーンヘルプを使用し、ステータスを表示します。



3. プログラムの呼び出し履歴の表示機能

メインプログラムから呼び出されたサブプログラムの呼び出し履歴を表示します。

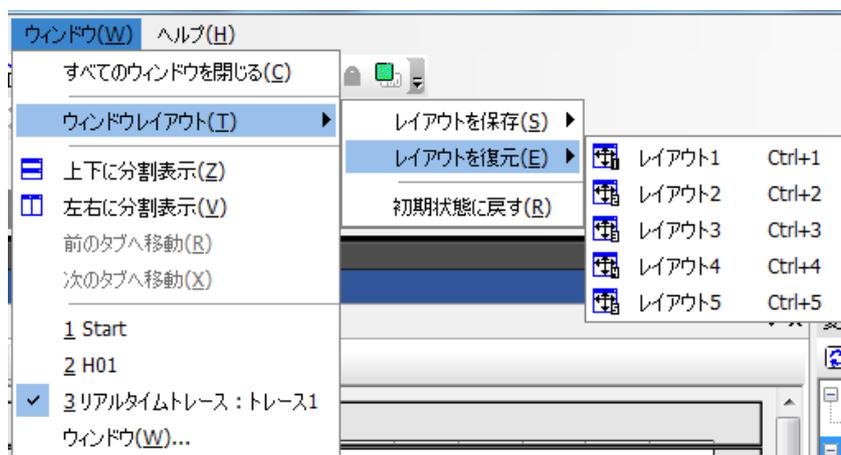


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.6 ウィンドウレイアウトの保持機能をサポートしました。

プログラム開発時におけるウィンドウレイアウト、デバッグ時におけるウィンドウレイアウトなど、お客様の好きなウィンドウレイアウトを5つまで保持できる機能をサポートしました。



【操作手順】

「ウィンドウ」メニューの「ウィンドウレイアウト」から操作できます。

レイアウトの復元は、「Ctrl+1,2,3,4,5」の操作で復元できます。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.7 ウィンドウレイアウトの表示機能を追加しました。

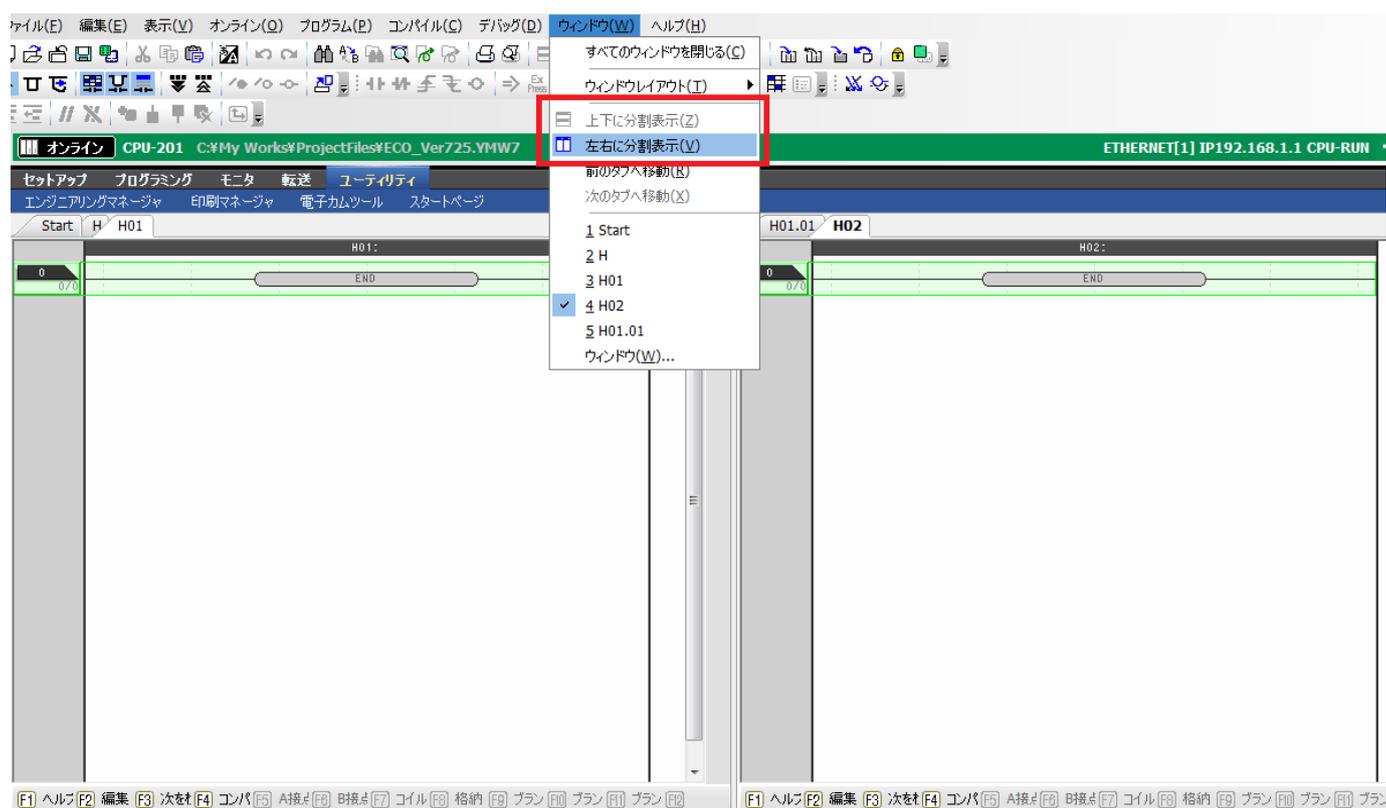
ラダープログラムやモーションプログラムを表示するウィンドウの表示の変更方法に、「上下に分割表示」、「左右に分割表示」する機能を追加しました。

○「上下に分割表示」ボタンを押すことで、簡単にウィンドウを上下方向に分割表示することができます。

○「左右に分割表示」ボタンを押すことで、簡単にウィンドウを左右方向に分割表示することができます。

【操作方法】

「ウィンドウ」メニュー⇒「上下に分割表示」、または、「左右に分割表示」を選択



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 8 システムモニタ機能を強化しました。

システムモニタ機能について、下記の機能を追加しました。

1. アラーム統合管理機能

システムモニタ機能は、コントローラやサーボパックで発生しているエラーや、アラームを統合管理し、そのアラームの要因と対処方法を表示します。また、アラーム内容に基づき、アラームをカテゴリ表示します。

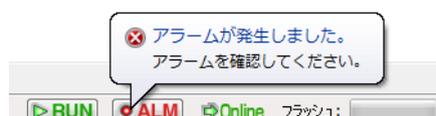
アラームのカテゴリ表示

カテゴリ	アラーム内容
CPU	CPU エラー
	バッテリーアラーム
プログラム	ラダープログラム演算エラー
	モーションプログラムアラーム
モジュール	軸アラーム(モーションモジュールアラーム)
	サーボアラーム
	入出力アラーム(通信モジュール)



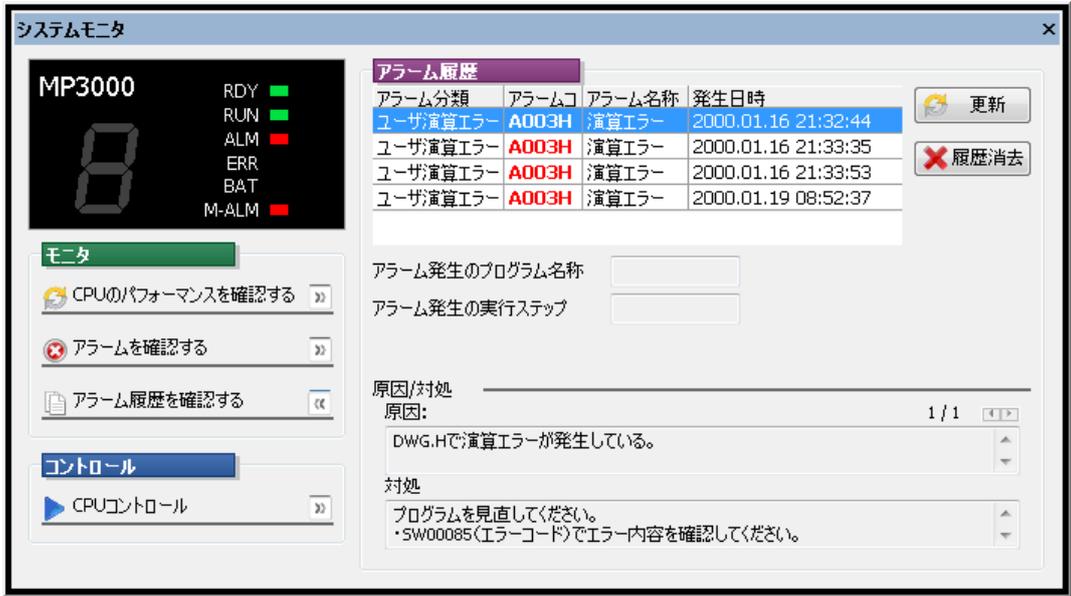
2. エラー、アラームを監視するステータス表示機能

ステータスバーに、システムモニタ機能で表示されるエラーやアラームの発生状態を常時監視する機能を追加しました。



3. アラーム履歴機能(MP3000 シリーズのみ対応)

MP3000 シリーズコントローラで、新規に追加したアラーム履歴機能を追加しました。コントローラで発生したアラームを100件まで遡って、アラーム内容を確認することができます。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.9 転送機能の改善を実施しました。

クロスリファレンス機能に、下記の機能を追加しました。

1. 検索結果履歴の保持機能

クロスリファレンスの検索結果を保持する機能です。



2. 検索結果履歴の戻る、進む機能

クロスリファレンスの検索結果について、1つ前の検索結果に戻る機能と、1つ後の検索結果に進む機能です。



3. 確認チェックの実施有無の保持機能

確認したレジスタのチェック有無をチェックボックスに保持する機能です。



4. 書込検索、読込検索機能

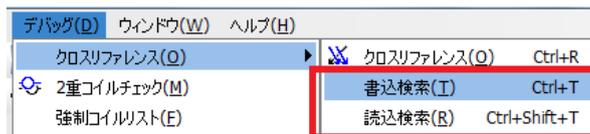
書込検索機能(Ctrl+T): 出力命令(コイル命令など)に使用されているレジスタのみを検索する機能です。

読込検索機能(Ctrl+Shift+T): 入力命令(A 接点など)に使用されているレジスタのみを検索する機能です。

「読込検索」、「書込検索」を検索した後、「次を検索」(ショートカットキー:F3)、「前を検索」(ショートカットキー:Shift+F3)を使用することで、スムーズに検索することが可能です。

【操作方法】

「デバッグ」メニュー⇒「クロスリファレンス」⇒「読込検索」(Ctrl+Shift+T)、または、「書込検索」(Ctrl+T)を選択。



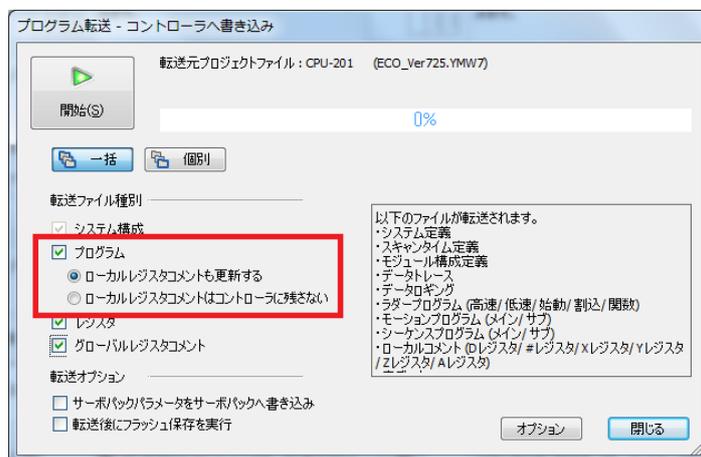
【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 10 転送機能の改善を実施しました。

転送機能において、「プログラム」と「ローカルレジスタコメント」の転送ファイルの設定方法を変更しました。既存の「コメント」を「グローバルレジスタコメント」に変更し、新たにローカルレジスタコメント操作の項目を追加しました。

- ・「コメント」→「グローバルレジスタコメント」に変更。
- ・「ローカルレジスタコメント」については、「プログラム」配下に配置するように変更。



【MPE720 Ver7.24 以前】

転送ファイル	チェック有無	動作
プログラム	あり	転送先に、「プログラム」が転送される。
コメント	あり	転送先に、「ローカルレジスタコメント」が転送される。

転送ファイル	チェック有無	動作
プログラム	あり	転送先に、「プログラム」が転送される。
コメント	なし	転送先の「ローカルレジスタコメント」が、空の状態となる。

転送ファイル	チェック有無	動作
プログラム	なし	転送先に、「プログラム」は転送されない。
コメント	あり	転送先に、「ローカルレジスタコメント」は転送されない。

【MPE720 Ver7.26】

転送ファイル	チェック有無	動作
プログラム	あり	転送先に、「プログラム」が転送される。
ローカルレジスタコメントも更新する。	あり	転送先に、「ローカルレジスタコメント」が転送される。

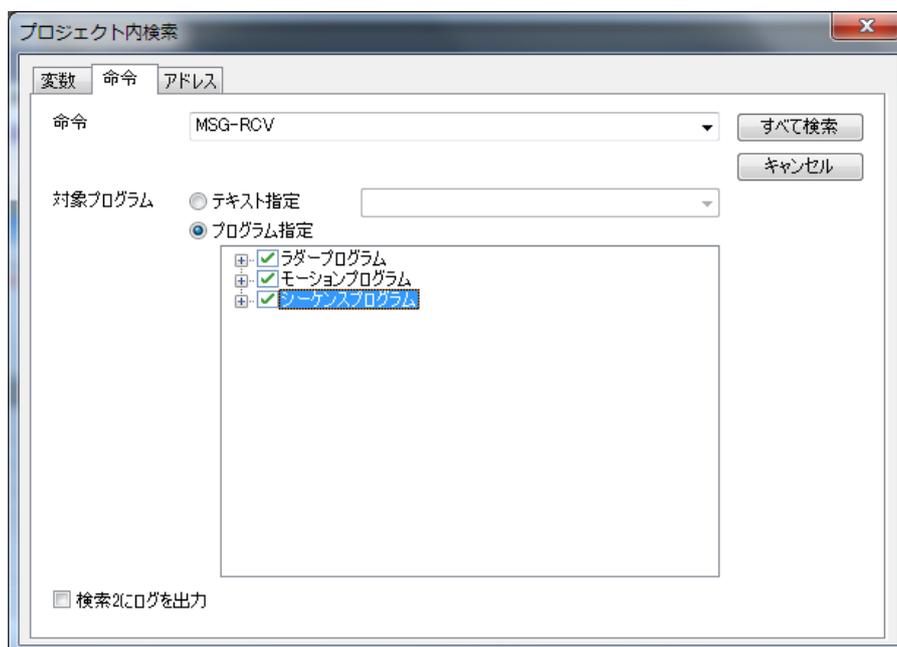
転送ファイル	チェック有無	動作
プログラム	あり	転送先に、「プログラム」が転送される。
ローカルレジスタコメントはコントローラに残さない。	あり	転送先の「ローカルレジスタコメント」が、空の状態となる。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 11 プロジェクト内検索機能を強化しました。

プロジェクト内検索機能において、「命令検索」機能を追加しました。
※命令検索の対象は、ラダー命令です。

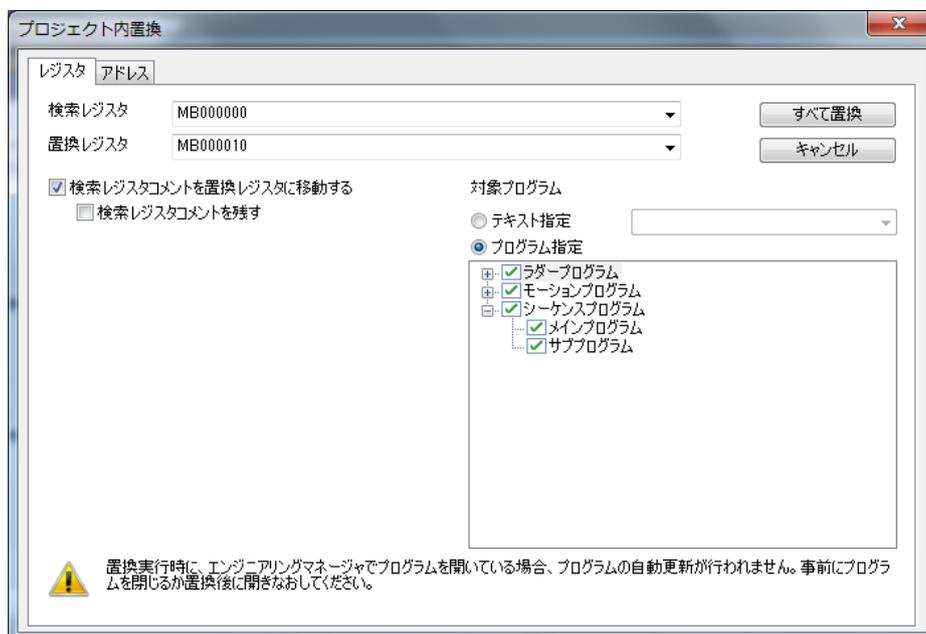


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 12 プロジェクト内置換機能を改善しました。

これまで、「プロジェクト内置換」機能において、CP ラダーに対するレジスタの置換操作ができませんでしたので、CP ラダーについてもレジスタ置換操作ができるように改善しました。



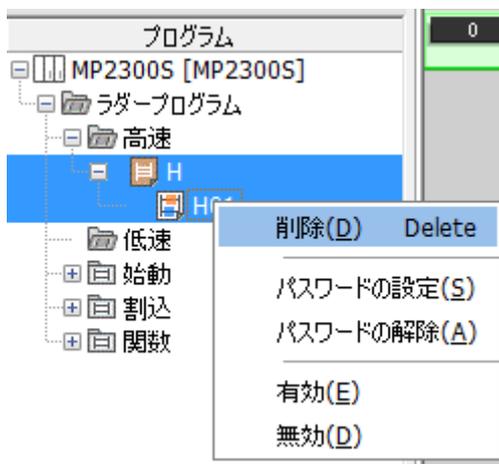
【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.13 複数プログラムの編集操作を改善しました。

複数のプログラムについて、下記の操作を同時に操作できるように改善しました。

1. プログラムの削除操作
2. プログラムパスワードの一括設定、一括解除操作
3. プログラムの有効、無効切り替え操作



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.14 軸選択画面の表示を改善しました。

テスト運転機能や、軸のセットアップウィザード機能、モジュール構成定義の軸選択画面に表示されるサーボパック名称を、回線番号と、軸番号だけでなく、グループ定義で割り付けた論理軸名称で表示するように改善しました。

1	2	*	アドレス	A1 回線#01 軸#01 SGDV-MDA02**M3* 【始動時の値】	A1 回線#01 軸#01 SGDV-MDA02**M3*	B1 回線#01 軸#02 SGDV-MDA02**M3*	C1 回線#01 軸#03 SGDV-MDA02**M3*
				<input type="checkbox"/> 全選択 <input type="checkbox"/> 反映	単位更新	単位更新	単位更新
+	0		0: 運転指令設定	0W8000	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]
+	1		1: モード設定1	0W8001	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]
+	2		2: モード設定2	0W8002	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]
+	3		3: 機能設定1	0W8003	<input type="checkbox"/> 0011[H]	<input type="checkbox"/> 0011[H]	<input type="checkbox"/> 0011[H]
+	4		4: 機能設定2	0W8004	<input type="checkbox"/> 0033[H]	<input type="checkbox"/> 0033[H]	<input type="checkbox"/> 0033[H]
+	5		5: 機能設定3	0W8005	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]
+	6		6: M-IIIベンダ固有サーボコマンド出力信号	0W8006	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]
	8		8: モーションコマンド	0W8008	<input type="checkbox"/> 0: コマンドなし	<input type="checkbox"/> 0: コマンドなし	<input type="checkbox"/> 0: コマンドなし
+	9		9: モーションコマンド制御フラグ	0W8009	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]	<input type="checkbox"/> 0000[H]
	10		10: モーションサブコマンド	0W800A	<input type="checkbox"/> 0: コマンドなし	<input type="checkbox"/> 0: コマンドなし	<input type="checkbox"/> 0: コマンドなし
	12		12: トルカ/推力指令設定	OL800C	<input type="checkbox"/> 0[0.01%]	<input type="checkbox"/> 0[0.01%]	<input type="checkbox"/> 0[0.01%]
	14		14: トルカ/推力指令時速度制限設定	0W800E	<input type="checkbox"/> 15000[0.01%]	<input type="checkbox"/> 15000[0.01%]	<input type="checkbox"/> 15000[0.01%]
	16		16: 速度指令設定	OL8010	<input type="checkbox"/> 3000[1000pulse/min]	<input type="checkbox"/> 3000[1000pulse/min]	<input type="checkbox"/> 3000[1000pulse/min]
	18		18: 速度リミット値	0W8012	<input type="checkbox"/> 0[0.01%]	<input type="checkbox"/> 0[0.01%]	<input type="checkbox"/> 0[0.01%]

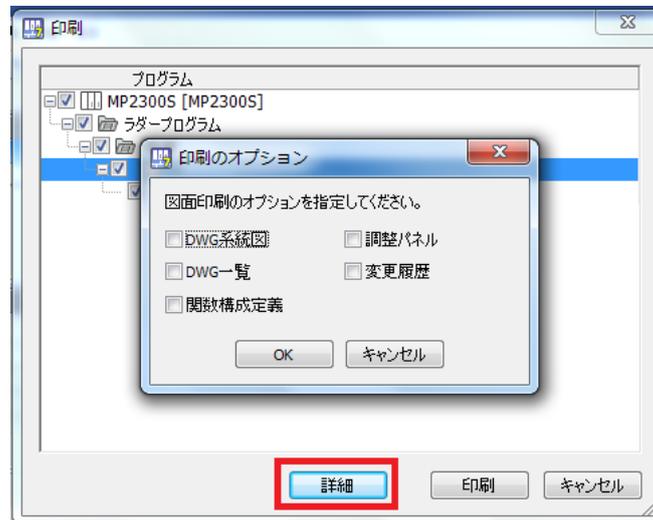
【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.15 印刷機能を改善しました。

プログラム印刷機能において、下記の項目が印刷できるように改善しました。

1. DWG 系統図
2. DWG 一覧
3. 関数構成定義
4. 調整パネル
5. 変更履歴



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.16 プロジェクトファイルのリカバリ機能をサポートしました。

MPE720 が何らかの要因で異常終了した場合に、次回該当のプロジェクトファイルを起動した時に、前回作業途中のプロジェクトデータを復旧させる機能を追加しました。

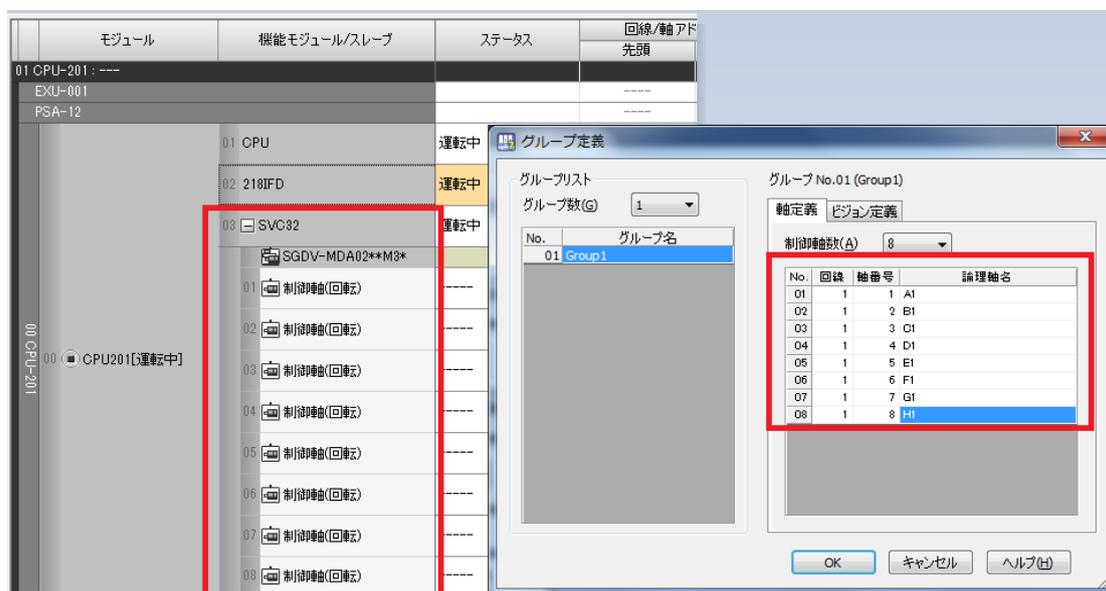


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 17 グループ定義(軸変数)のデフォルト値を改善しました。

グループ定義(軸変数)を起動したとき、これまでは3軸(A1,B1,C1)を設定した状態で表示されていましたが、モジュール構成定義の割り付け状態を確認して、デフォルト値を設定するように改善しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No.18 モジュール構成定義(MC-Configurator)の動作を改善しました。

モジュール構成定義画面(MC-Configurator)において、下記の動作について改善を実施しました。

①モジュール構成画面の操作改善

モジュール構成画面で、SVB-01 や SVC-01 などモーション制御モジュールに割り付けたスレーブ機器について、ドラッグ&ドロップ操作で、ステーション番号を移動する機能を追加しました。

②モジュール構成画面と、パラメータ画面(固定パラメータ画面など)の書き込み(保存)操作の排他制御の改善

パラメータ画面を開いている場合に、モジュール構成画面で割り付けを編集し、書き込み(保存)操作ができない動作となっていましたので、これを改善しました。

③サーボパラメータ/サーボモニタの最大表示軸数の改善

これまでは、サーボパラメータ/サーボモニタの最大表示軸数が、4 軸までとなっていました。最大表示軸数の制限をなくしました。

④サーボモニタの改善

サーボモニタ画面で、モニタしたいパラメータをチェックボックスにチェックをつけて設定するように変更しました。

⑤パラメータ画面のタブ表示

設定パラメータ/モニタパラメータ、サーボパラメータ/サーボモニタ画面のタブ表示について、選択したパラメータ画面のタブを一覧表示するように改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 19 通信設定画面を改善しました。

通信設定画面の Ethernet ポートにおいて、下記の改善を実施しました。

1. Ping コマンド発行機能

Ping コマンド発行機能は、「接続先 IP アドレス」に設定されたコントローラに対して、Ping コマンドを発行し、Ethernet 通信が有効かどうかを確認できる機能です。

2. ポート初期化機能

ポート初期化機能は、同一の IP アドレスを持つ異なるコントローラに接続しようとした場合に、接続できないことがありますが、その現象が発生したときに Ethernet 通信ポートを初期化する機能です。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 20 変数の表示フォーマットのデフォルト値を変更しました。

変数ウィンドウの「変数の表示フォーマット」のデフォルト値を変更しました。環境設定の変数タブで変更可能です。

【MPE720 Ver7.24 以前】

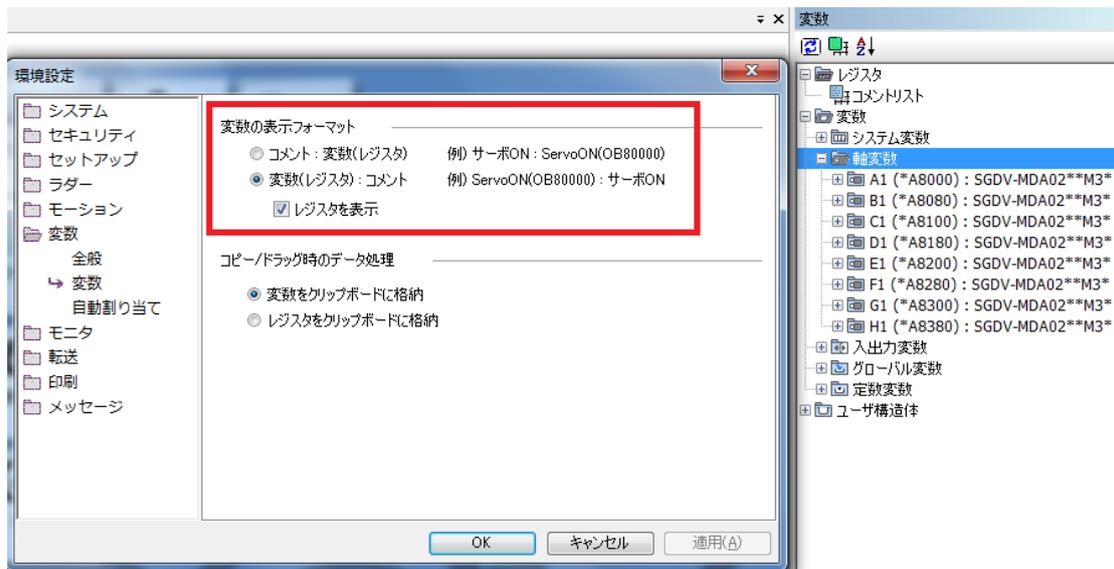
「コメント:変数(レジスタ)」

【MPE720 Ver7.26】

「変数(レジスタ):コメント」

【変更手順】

変数ウィンドウで、右クリックメニューの「プロパティ」を選択し、「環境設定」画面で変更できます。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 21 通信プラットフォームの起動タイミングを変更しました。

MPE720 Ver7 起動時に、通信プラットフォームを起動するように起動タイミングを変更しました。

これまでは、通信接続ボタンが押されたタイミングで通信プラットフォームを起動していましたが、1回目の通信接続時に、通信プラットフォームの起動が完了せずに、通信に失敗する場合があります。

【対応バージョン】

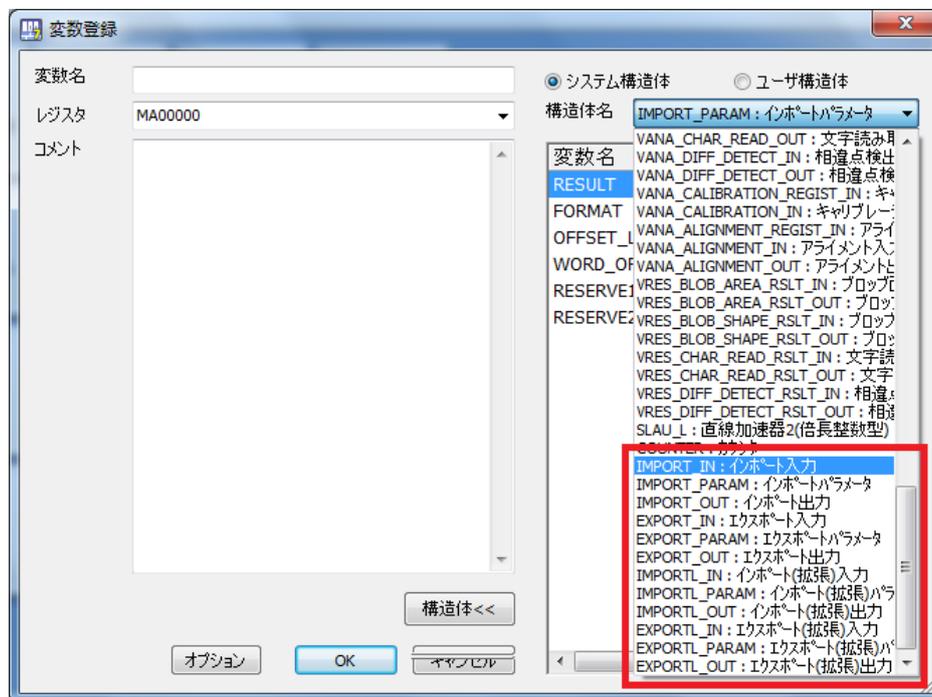
コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 22 システム構造体に、「IMPORT」、「EXPORT」、「IMPORTL」、「EXPORTL」を追加しました。

変数ウィンドウのシステム構造体に、「IMPORT」、「EXPORT」、「IMPORTL」、「EXPORTL」を追加しました。

【操作方法】

変数ウィンドウの「グローバル変数」⇒「Address」を選択し、右クリックメニューの「追加」を選択する。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 23 プロジェクトパスワードが設定されたプロジェクトの MC-Configurator 起動動作を改善しました。

プロジェクトパスワードが設定されたプロジェクトファイルを開き、MC-Configurator を起動すると、プロジェクトパスワードの入力が再度、要求される動作となっていました。一度、パスワードを入力しているのに、入力を要求しないように改善しました。

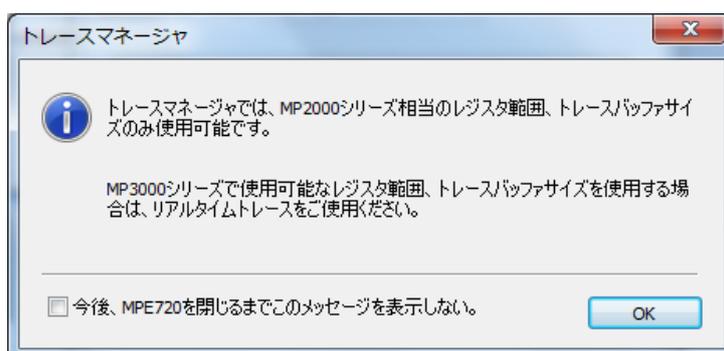


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 24 トレースマネージャ機能にメッセージを追加しました。

トレースマネージャ機能において、MP3000 シリーズで追加となったレジスタ種別(G レジスタ)、データ型(Quad、Double 型)、レジスタ範囲(MW65535 以上のレジスタ)は使用できないため、トレースマネージャ起動時に、使用範囲についてのメッセージを追加しました。

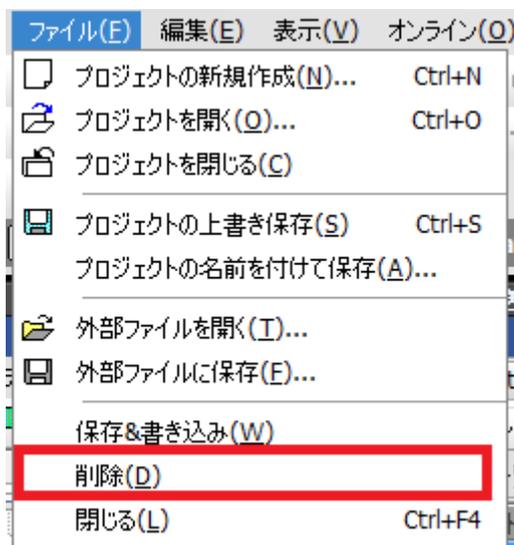


【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 25 リアルタイムトレース機能を改善しました。

リアルタイムトレース機能において、トレース定義の削除機能が使用できませんでしたの、削除操作ができるように改善しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 26 MAL ファイルから YMW ファイルへの変換動作を改善しました。

MAL ファイルから YMW ファイルへの変換動作において、「シンボルをコメントに統合する」を選択して変換した場合に、「0x80010105」のエラーメッセージが表示され変換に失敗することがありましたので、これを改善しました。

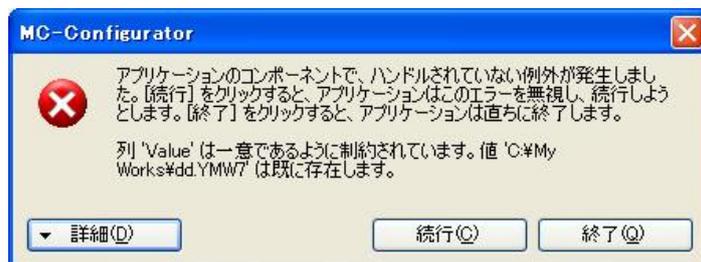
※「Ver5 CMT ファイルのインポート」操作を実施したときも同様です。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 27 MC-Configurator 起動動作を改善しました。

MC-Configurator 起動時に、エラーメッセージが表示され起動できないことがありましたので、これを改善しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 28 ラダープログラムのコンパイル動作を改善しました。

ラダープログラムにおいて、立ち上がり接点命令に、配列レジスタ、あるいは、添字を使用すると、回路が正しく動作しないことがありましたので、このような回路が組まれた場合に、入力時、コンパイル時にエラーメッセージを出力するように改善しました。

【対象命令】

1. 立ち上がり A 接点
2. 立ち上がり B 接点
3. 立ち下がり A 接点
4. 立ち下がり B 接点
5. 立ち上がり変化検出コイル
6. 立ち下がり変化検出コイル

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	未サポート

No. 29 IMORTL/EXPORTL 命令のコンパイル動作を改善しました。

1. オフラインの環境で、MP3000 シリーズのプロジェクトファイルを新規作成し、ラダープログラムに IMORTL/EXPORTL 命令を使用すると、コンパイルエラーとなる現象がありましたので、これを改善しました。
2. ラダー命令の IMPORTL、EXPORTL 命令において、転送サイズに、1~32767 を設定すると、「8104H: 範囲外エラー (並列実行チャンネル番号)」のエラーが発生することがありますので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	Ver1.08 以降
MP2000 シリーズ	未サポート

No. 30 モーションプログラムのコンパイル動作を改善しました。

ユーザ構造体の構造体名称に、「ch」という変数名称を使用すると、モーションプログラムのコンパイル時に、「0xA0A058EC : 構造体コンパイル処理が失敗しました。」というエラーメッセージが表示されてコンパイルできないことがありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 31 ローカルレジスタのクロスリファレンス動作を改善しました。

アドレス型のローカルレジスタをクロスリファレンス機能で検索すると、検索対象の図面以外のローカルレジスタが、検索結果に表示されることがありましたので、これを改善しました。

例)
 H 図面において、コイル命令に、「DB00000」を使用している。
 H01 図面において、MSEE 命令に、「DA00000」を使用している。
 クロスリファレンス機能において、H 図面の「DB00000」を検索すると、重複アドレスに、H01 図面で使用している「DA00000」が検索結果に表示されてしまう。

クロスリファレンス 1 [DB000101-H / 検索結果2件]

レジスタ	プログラム	実行命令	実行ステップ	書込/読込
■ 同一レジスタ				
DB000101	H	COIL : コイル	11	書込
■ 重複アドレス				
DL00010	H	LOAD : 整数型置数	12	読込

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 32 プロジェクト内検索の動作を改善しました。

プロジェクト内検索機能において、CP ラダーで使用されているビット型レジスタを検索した場合に、ワード型レジスタの範囲で検索結果が表示される現象がありましたので、これを改善しました。

例)
 CP ラダーの H01 図面において、A 接点命令に「MB00000」と、コイル命令に「MB00001」を使用している。
 プロジェクト内検索機能(変数タブ)において、「MB00000」を検索すると、検索結果に「MB00000」と「MB00001」が表示されてしまう。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 33 レジスタリストの「使用レジスタ」表示の動作を改善しました。

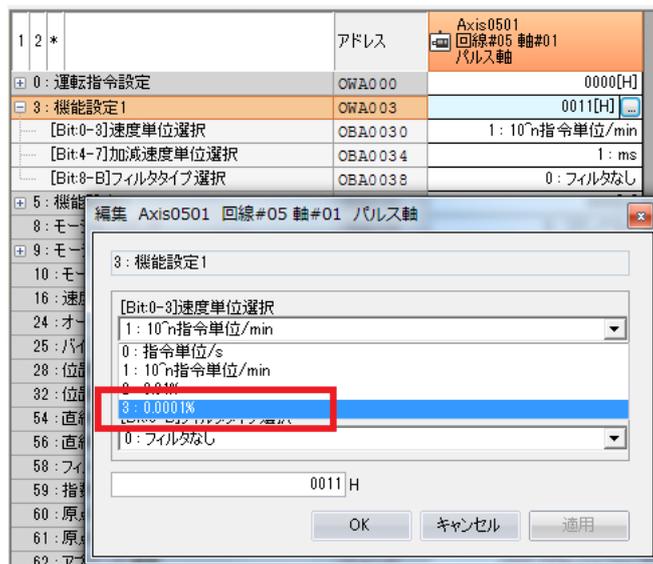
ローカルレジスタについて、レジスタリストのレジスタマップ表示機能で、未使用のレジスタが、使用レジスタとして表示される現象がありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 34 PO-01 モジュールの設定パラメータの「速度単位選択」に、「0.0001%」を追加しました。

PO-01 モジュールの設定パラメータの「機能選択 1」の「速度単位選択」(OWxx03 Bit0~3)に、「設定値=3(0.0001%)」を追加しました。



【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 35 AI-01、AO-01 モジュールの詳細定義画面の表示を改善しました。

モジュール構成定義の AI-01、AO-01 の詳細定義において、「単位表示」部分が文字切れして表示されていたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 36 転送動作を改善しました。

ログオンユーザ名に、16 バイト長のユーザ名を設定したプロジェクトファイルにおいて、転送機能の個別転送を行うと転送に失敗することがありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 37 軸変数コメントの動作を改善しました。

軸変数のコメントに、コメントサイズ最大長の 32 バイトのコメントを設定した場合に、コメントが正しく表示されないことがありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 38 リアルタイムトレース機能のトリガ待ち状態の動作を改善しました。

リアルタイムトレース機能において、トリガ待ちの状態のまま一定時間経過すると、エラーメッセージが表示され固まるということがありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 39 印刷機能の改善を実施しました。

印刷マネージャで CP ラダーを印刷すると、CP ラダーで使用している D レジスタコメントが印刷されないことがありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。

No. 40 定数変数(C レジスタ)印刷の改善を実施しました。

MPE720 Ver7 の定数変数(C レジスタ)において、Float 型レジスタを定数変数に追加し印刷すると、印刷マネージャが固まる現象がありましたので、これを改善しました。

【対応バージョン】

コントローラ	対応バージョン
MP3000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。
MP2000 シリーズ	コントローラのバージョンには依存しません。